

緊急消防援助隊情報

第5回緊急消防援助隊全国合同訓練の実施結果（速報）

広域応援室

1. 実施日及び訓練概要

平成27年11月13日（金）～14日（土）の2日間、千葉県千葉市、市原市等において第5回緊急消防援助隊全国合同訓練を実施しました。消防庁では、緊急消防援助隊の消火・救助技術や連携活動能力等の向上を図ることを目的として、緊急消防援助隊が充足した平成7年度に第1回を開催して以降、5年に1度、全国の緊急消防援助隊が一同に会して行う全国合同訓練を実施しています。

全国合同訓練の実績

	開催日	開催地	参加本部・隊数等
第1回	平成7年 11月28日・29日	東京都	98本部／135隊／1,500名
第2回	平成12年 10月23日・24日	東京都	148本部／206隊／1,922名
第3回	平成17年 6月10日・11日	静岡県	206本部／386隊／1,953名
第4回	図上訓練 平成22年 1月28日・29日	愛知県 和歌山県 徳島県	81本部／370名
	部隊運用訓練 平成22年 6月4日・5日	愛知県	223本部／411隊／2,138名
第5回	平成27年 11月13日・14日	千葉県	280本部／582隊／2,361名

(1) 11月13日（金）・1日目

- 本部運営訓練
 - ▷会場：千葉県庁／市原市役所・山武市役所／千葉県内7消防本部
 - ▷訓練：消防応援活動調整本部／県・市災害対策本部／指揮本部・指揮支援本部運営訓練
- 即応救助訓練会場
 - ▷会場：蘇我スポーツ公園
 - ▷訓練：土砂災害救助訓練／多重衝突事故救助訓練
- 救助連携訓練
 - ▷会場：養老川河川敷
 - ▷訓練：漂流者救助訓練／大規模瓦礫・土砂災害救助訓練／大規模火災消火訓練
- 宿営訓練
 - ▷会場：蘇我スポーツ公園／市原市総合防災センター／海上自衛隊下総航空基地（航空隊）

(2) 11月14日（土）・2日目

- メイン総合訓練
 - ▷会場：市原スポレクパーク隣接地
 - ▷訓練：ビル座屈・地下街崩落事故救助訓練／列車脱線・落下事故救助訓練／津波漂流・孤立者救助訓練／木造家屋倒壊事故救助訓練／トンネル崩落事故救助訓練／瓦礫・土砂災害救助訓練／航空機事故救助訓練／毒劇物事故救助訓練／大規模火災空中消火訓練
- 石油コンビナート等災害対応訓練
 - ▷会場：コスモ石油株式会社千葉製油所
 - ▷訓練：危険物タンク火災消火訓練／足場パイプ崩落事故救助訓練／高圧ガスタンク火災消火訓練／栈橋・船舶火災消火訓練／海上への油流出事故対応訓練



訓練会場位置図

2. 重点推進事項

首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害に備えた対応力強化に向けて、全国規模の参集訓練及び実践的な部隊運用訓練を実施し、より迅速な参集体制の確立及び連携活動能力の向上を図るため、本訓練において重点的に推進する事項として4項目を定め、訓練を実施しました。

(1) 陸路以外の進出手段の強化

首都直下地震や南海トラフ地震等において陸路で迅速な進出が困難になることを想定し、自衛隊の大型ヘリコプターや輸送機、民間のフェリーや航空機など陸路以外の多様な手段による部隊進出を実施しました。

特に、空路の部隊進出においては、「隊員」又は「隊員と携行可能な資機材」を被災地直近の空港や自衛隊の航空基地等へ投入した後、当該空港等からの移動手段（受援側の消防車両や自衛隊の大型ヘリコプター）を調整の上、災害現場まで進出する訓練を実施しました。



自衛隊大型ヘリコプター（CH-47）による隊員及び資機材の輸送



メイン総合訓練会場の訓練状況



自衛隊航空機（C-130）での消防車両の輸送状況



航空機事故救助訓練（メイン総合訓練会場）

(2) ブラインド訓練による指揮能力の向上

火災、土砂災害、多重衝突事故、建物倒壊等、複合的な災害が広範囲で発生したことを想定し、複数会場において訓練を実施しました。

また、訓練開始後に複数会場に関する災害状況が随時付与され、進出してくる緊急消防援助隊の各大隊等の編成・装備・進出状況等に応じ、投入先・規模等を調整の上、決定する等、部隊指揮も含めたブラインド訓練を実施しました。



指揮支援部隊による各緊急消防援助隊の投入先などの調整状況

(3) 各レベルにおける実動機関の連携強化

千葉県災害対策本部は、政府現地対策本部と調整の上、実動機関共通の活動方針等を決定し、市災害対策本部や消防本部を通じ、現地合同指揮所へ伝達するとともに、現地合同指揮所では、この方針等を踏まえ、各部隊の任務、活動範囲等を調整した上で活動する等の訓練を実施しました。

さらに、千葉県災害対策本部に災害医療本部（DMAT調整本部を含む。）を設置し、DMATの派遣調整や病院選定に係る支援等を行うとともに、災害現場において救助隊、救急隊、DMAT、各実動機関のヘリコプター等が連携し、要救助者の救助、トリアージ、応急処置、災害拠点病院やSCU（広域医療搬送拠点）等への傷病者の搬送まで一連の流れの訓練を実施しました。



千葉県災害対策本部運営訓練における実動機関の調整会議



ドラゴンハイパー・コマンドユニットによる石油コンビナート災害対応状況



消防機関の重機を活用し、自衛隊との連携した活動状況
(養老川河川敷)



作戦会議を実施した拠点機能形成車の配置状況
(蘇我スポーツ公園)

(4) 新設部隊や新型特殊車両の運用強化

発災後に先遣出動する統合機動部隊が、消防応援活動調整本部からの指示を受け、進出拠点やルート等を出動先消防本部等と調整の上、迅速に現場に進出。災害現場及び進出途上において地元消防本部や消防団と合流し、災害状況について情報提供を受け、活動を引き継ぐとともに、後続する都道府県大隊へ必要な情報を随時提供する等の訓練を実施しました。

また、現在、全国2地域のみにも配備されているドラゴンハイパー・コマンドユニットが、実際の石油コンビナート事業所に参集し、連携した消火訓練を実施するとともに、当該事業所の自衛防災組織と連携し、施設に関する情報共有や大容量泡放射システムの活用等の訓練を実施しました。

さらに、拠点機能形成車について、積載された資機材を最大限活用して後方支援活動を行うとともに、夜間に部隊間の調整を行うためのスペースとして活用する等の運用強化訓練を実施しました。

その他、津波・大規模風水害対策車（水陸両用バギー）、燃料補給車、無線中継車等、近年配備された特殊車両の運用訓練を実施しました。

3. おわりに

緊急消防援助隊発足から20年が経過し、東日本大震災後、初の全国訓練となった本訓練は、警察・自衛隊・海上保安庁・DMAT等の関係機関を含め過去最大規模の約3,000名が参加し、4つの重点推進事項を柱に訓練を実施いたしました。また、平成27年12月10日（木）には、広島県呉市にある海上自衛隊呉基地において、海路による進出手段の検証のため輸送艦乗船訓練を実施しました。

消防庁では、今後これらの訓練の検証を行い、訓練を通じて得られた教訓を踏まえ、緊急消防援助隊の更なる充実・強化に取り組む予定です。

最後に、今回の訓練開催にあたり、多大な御協力を賜りました千葉県、千葉市、市原市、千葉県内消防本部並びに参加消防本部及び関係機関の皆様へ、心から感謝を申し上げます。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527 (直通)